

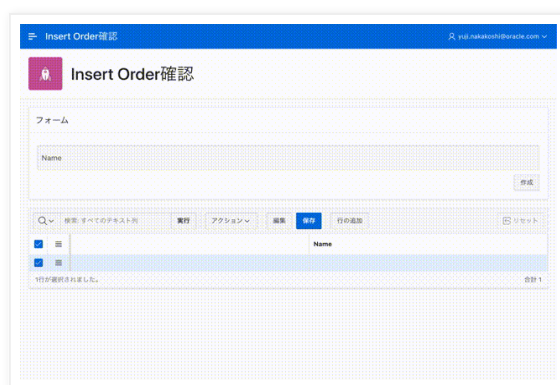
日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年2月12日 金曜日

同一ページのフォームと対話グリッドの処理順について

同じページにフォームと対話グリッドのリージョンがある場合、どちらが先に処理されるのか、と質問がありました。プロセスの行の自動処理(DML)の登録順だろうと思ったのですが、確認してみました。その作業ログです。ページ作成ウィザードを使用しないフォームと対話グリッドのリージョンの作成方法の紹介にもなっています。

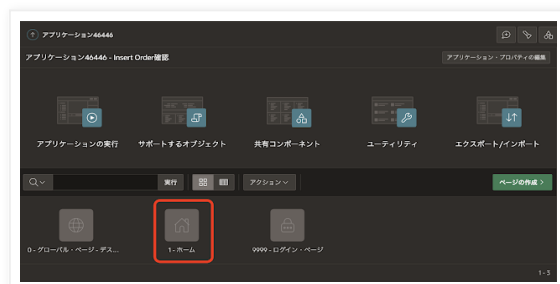


以下のクイックSQLのモデルにて、表TST_INSERT_ORDERを作成します。

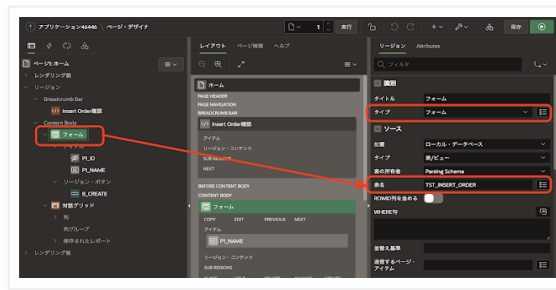
```
# prefix: tst
# semantics: default
insert_order
  name vc80
```

モデルには含まれていませんが、主キーとして列IDが作成され、一意となる数値が自動採番されます。そのため、IDを確認することにより、行が挿入された順番が分かります。

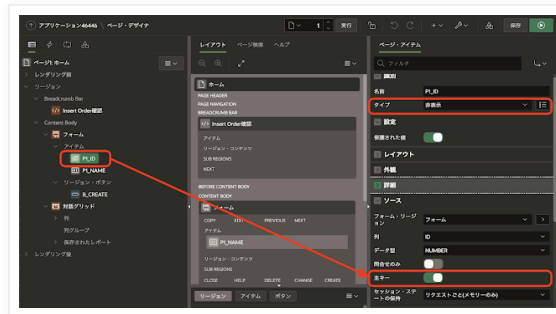
表を作成した後、空のアプリケーションを作成します。今回は名前をInsert Order確認としました。ホーム・ページを開いて、フォームと対話グリッドのリージョンを追加します。



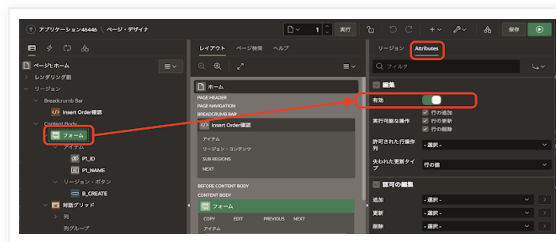
新規にタイプがフォームとなるリージョンを追加します。タイトルはフォームとしています。ソースの表名としてTST_INSERT_ORDERを設定します。



表名が設定されると、列が認識されます。認識された列の中から列IDに対応するページ・アイテム **P1_ID**を選択し、**タイプ**を**非表示**、**主キー**を**ON**に変更します。

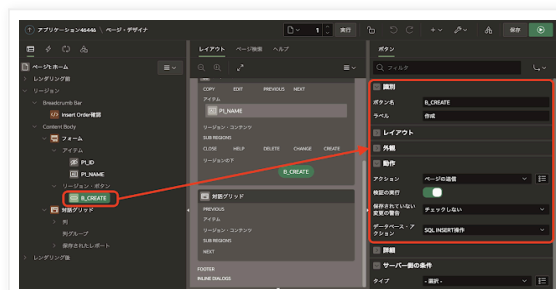


フォーム・リージョンの**Attributes**を開き、**編集**を有効にします(**ON**にします)。



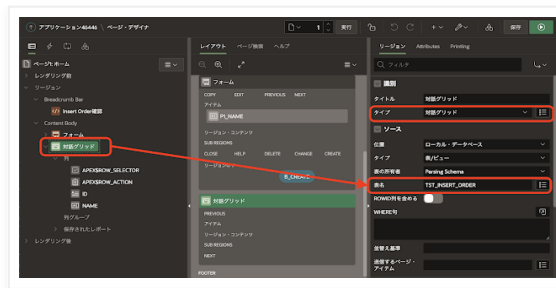
行を作成するボタンを作成します。フォーム・リージョンを手動で作成した場合、ページ作成ウィザードによる作成とは異なり、作成、変更の登録、削除、キャンセルといったボタンは作成されません(これらのボタンは、フォーム・リージョンというコンポーネントの一部ではありません)。

フォーム・リージョンにボタンを作成します。**ボタン名**は**B_CREATE**、**ラベル**を**生成**としています。**動作のアクション**は**ページの送信**(つまりHTTPのPOSTが発行されます)、**データベース・アクション**は**SQL INSERT操作**を選びます。

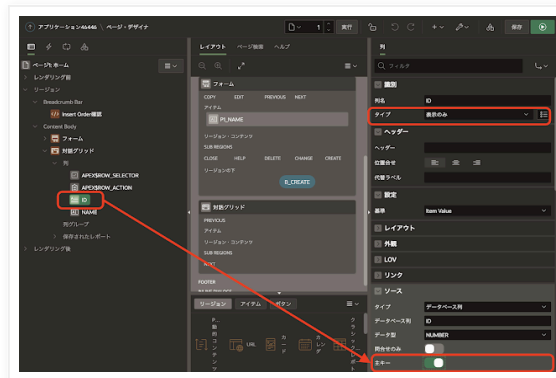


データベース・アクションの指定は重要で、フォーム・リージョンに対応する行の自動更新(DML)プロセスは、このデータベース・アクションの指定に従ってデータベースの表操作を行います。

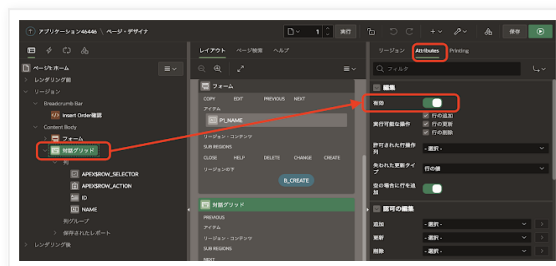
続いて、対話グリッドのリージョンを追加します。新規に名前を**対話グリッド**としたリージョンを追加し、**タイプ**を**対話グリッド**、**表名**に**TST_INSERT_ORDER**を設定します。



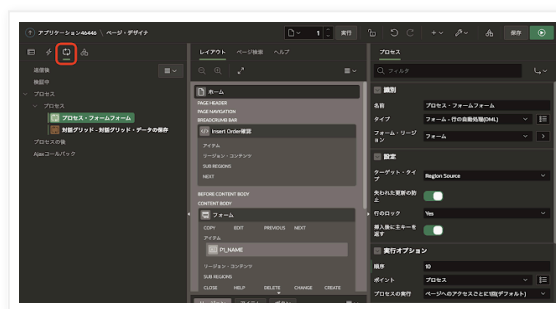
表名が設定されると、列が認識されます。認識された列の中から列IDを選択し、**タイプを表示のみ**、**主キー**をONに変更します。主キー列は通常は非表示にしますが、今回は挿入の順番を確認するため、列として表示させます。



対話グリッドのリージョンのAttributesを開き、**編集を有効**にします(ONにします)。

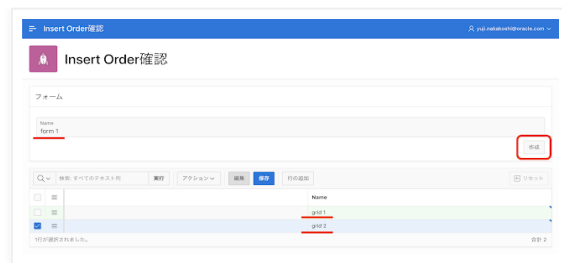


以上でアプリケーションの作成は完了です。**プロセス・ビュー**を開いて、登録されている行の**自動処理(DML)**の順番を確認します。



アプリケーションを実行して、何行かデータを挿入してみます。

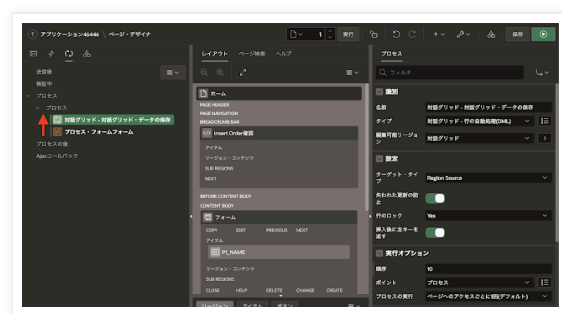
フォームのNameに**form 1**、対話グリッドに**grid 1**、**grid 2**の2行を設定し、**作成**をクリックします。



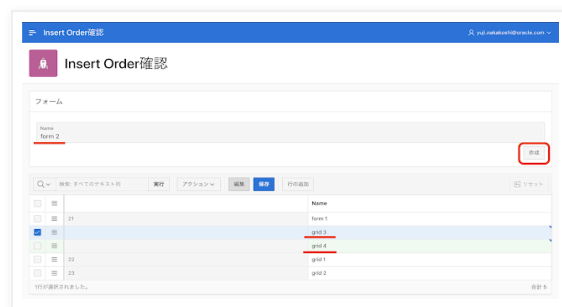
フォームのプロセスの方が対話グリッドより先に実行されるので、挿入順はform 1、grid 1、grid 2になります。



プロセスの処理順を入れ替え、対話グリッドのプロセスを先に実行します。



アプリケーションを実行し、フォームのNameに**form 2**、対話グリッドに**grid 3**、**grid 4**の2行を設定し、**作成**をクリックします。



今度是对話グリッドのプロセスが先に処理されるため、挿入順はgrid 3、grid 4、form 2になります。

確認に使用したアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/insertorder.sql>

以上になります。Oracle APEXのアプリケーション作成の一助になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 15:06

共有

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.
